

阿智村事務事業評価シート

事務事業名 障がい児給付	担当者	民生課	福祉係
--------------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村/福祉、保健、医療の充実/障がい者福祉		
関連する主な計画等			
根拠法	児童福祉法		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	障がい児		
事業開始年	H24	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期
			<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	障がい児に対し、放課後等デイサービスや保育所等訪問支援等のサービスを提供することにより、自立の促進や居場所づくり、家庭への支援を推進することを目的とする。
具体的取組	保健師・子育て支援室・学校等の関係機関と情報交換をしながら、支援が必要な児童や家庭に情報を提供し、適切な時期に支援ができるよう取り組んでいる。
実績・効果	

	延件数	前年度
児童発達支援	29件	(18件)
放課後等デイサービス	66件	(46件)
相談支援	19件	(7件)

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		児童発達支援	2,196			
	放課後等デイサービス	5,136				
	障がい児相談支援	324				

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	4,013	4,879	7,656	8,266	8,266
うち一般財源	1,003	1,220	1,914	2,067	2,067	
うち補助金	3,010	3,659	5,742	6,199	6,199	
うち個人負担						
従事職員(人)	正規職員					
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	利用件数は増えている	A
	手段、成果は妥当か	a	関係機関と連携を図り情報提供・支援をしている	
	対象者の設定は妥当か	a	児童福祉法に基づいている	
	村の関与は妥当か	a	法で定められている	
有効性	期待された効果が得られたか		障がい児の居場所づくりや家族支援の一助となっている	A
効率性	コストの削減に努めたか	a	法に定められた基準で実施している	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	法で定められた基準で実施している	
公平性	受益者負担は適切か		原則1割負担で、上限や軽減措置が設けられているので適切	A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	障がいのある子どもにとって必要な支援なので、適切なサービス支給決定ができるようにする。
今後の取り組み	今後も児童福祉法に基づき事業を行っていく。